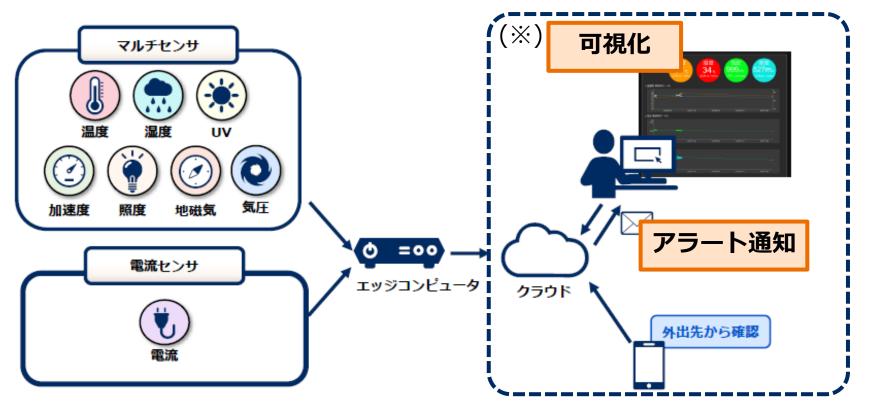
NEC IoT センサデータ可視化サービスの概要

8種類のセンサデータを組み合わせ、そのデータを可視化するサービス。

センサデータを、ネットワーク等の現場環境を変更する事なくクラウド上に自動収集し、1つのダッシュボード画面で可視化できる。同画面は、お客様自身でカスタマイズでき、気温、湿度、気圧、加速度、地磁気、照度、UV、電流のデータを取得可能。



※収集したデータの可視化は、株式会社インフォコーパスが提供するIoTプラットフォーム「SensorCorpus」を採用しています。

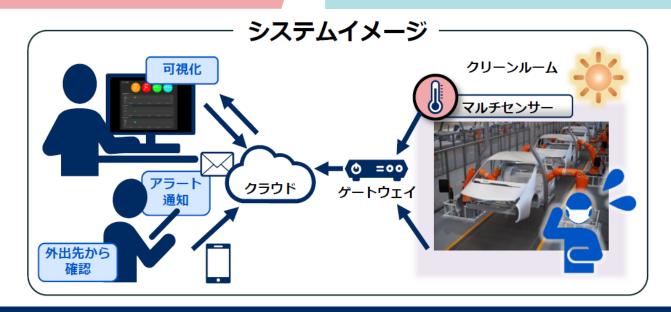
NEC IoT センサデータ可視化サービスの導入事例

解決したい課題

- ■高温・高湿度になりやすい作業環境の ため、作業員の健康管理が課題だった。 管理者が定期的に現場の温湿度を確認 する事で安全の維持を図っていたが、 手間がかかっていた。
- ■上記の通り、管理者は作業だけでなく、 作業環境の管理も行う必要があるため、 複数人の管理者が必要な場合もあった。

導入の効果

- ■作業環境の温度/湿度/照度/気圧データ をマルチセンサで自動収集する事で、 データの可視化と蓄積が可能になった。 (収集したデータを作業環境管理に活用)
- ■管理者が本来の業務に集中できる事で、 人員の最適化ができた。



NEC IoT センサデータ可視化サービスの環境効果

国連気候変動に関する政府間パネル(IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change)が示す「気候変動がもたらす8つのリスク」の内、本ソリューションに よって軽減できるリスク。

> (冒頭の番号は、 「気候変動がもたらす8つのリスク」次ページの番号に対応)

④熱波による、特に都市部の脆弱な層における死亡や疾病のリスク

熱波により高温・高湿度になりやすい屋内環境としては、丁場や体育館等が挙 げられる。このような特定エリアでの温度変化は、一般的な気象観測データでは 検出できない。

温度センサを取り付けて、温度・湿度等の作業管理に必要な現場情報を自動収 集する事で、高温・高湿度の環境が整う前に、メール通知によるアラートが可能 になる。アラートにより、現場の温湿度の調整、または水分補給等、状況に応じ た適切な措置を促す事で、猛暑による健康被害や疾病のリスクを防止/軽減でき る。

気候変動がもたらす8つのリスク

出典: IPCC第5次評価報告書(2014)



海面上昇、沿岸での高潮 被害などによるリスク



② 大都市部への洪水による 被害のリスク



③ 極端な気象現象による インフラ等の機能停止 のリスク



4 熱波による、特に都市部 の脆弱な層における 死亡や疾病のリスク



食料安全保障が脅かされる リスク



⑤ 気温上昇、干ばつ等による ⑥ 水資源不足と農業生産減少 による農村部の生計及び 所得損失のリスク



⑦ 沿岸海域における生計に 重要な海洋生態系の 損失リスク



⑧ 陸域及び内水生態系が もたらすサービスの 損失リスク